

事業名	河川美化事業費	財務コード (事業)	134701
-----	---------	---------------	--------

細事業名	河川ふれあい図画コンクール開催費
------	------------------

担当部課室	県土整備 部 治水 課 管理 担当 (内線)	7308
-------	------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H4 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に 山梨県内に居住している小学生	その対象をどのような状態にして 川を題材とした絵を描くことで河川に関心を持ち、河川の大切さを理解してもらう 作品の展示を見てもらい、河川に関心を持ち、河川の大切さを理解してもらう	結果、何に結びつけるのか 地域ぐるみでの河川美化活動の推進
	県民		
事業の内容 主に 24年度	<p>【事業概要】 図画コンクールの実施及び入賞作品の展示会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品題材:「川」を主題としたもの ・募集対象:山梨県内に居住している小学生 ・募集期間:7月1日～7月20日(平成25年度は6月20日～7月19日) ・作品数:1,019点 ・表彰:住みよい県土建設週間の表彰行事の中で実施 (最優秀賞1点、優秀賞6点、入賞一席6点、入賞二席6点、佳作6点 計25点) ・作品展示:12月18日～12月26日の間、県立図書館にて入賞作品25点を展示 (平成25年度は10月1日～10月18日に展示予定) 		
根拠法令等	河川法第9条第2項、第10条第1項 「川に親しみ、水辺にふれあう運動」推進強調月間実施要領、河川ふれあい図画コンクール募集要領		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	表彰作品数	25	25	25	25	25	目標設定の考え方 過去の実績値より設定
	作品展示場数	1	1	1	1	2	データの出典等
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	展示会にて行ったアンケートにおいて「図画コンクールが河川を守る意識付けに役立っている」と答えた割合	未実施	80%	88%	80%	80%	目標設定の考え方 作品の展示を通じ、河川愛護思想の普及・促進を図る。大多数の8割の方に、意識付けに役立っていると答えてもらえるよう活動を行う。
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			110.0 %			データの出典等 作品展示会にて実施したアンケート結果
	決算額、予算額 (千円) うち一財額	254 254		254 254	254 254	261 261	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	95 時間		95 時間	95 時間	95 時間	小学生が、川を題材とした絵を描くことを通じ、河川に関心を持ち、河川の大切さを理解する機会となっている。	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	95 時間		95 時間	95 時間	95 時間		
人件費1人1単位:千円 (@2,050円×所要時間)	195		195	195	195		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 活動指標である表彰作品数、及び、作品展示場数の活動量はそれぞれ次のとおりである。 表彰作品数については、審査会にて応募作品中25点を選定し、賞状、副賞の贈呈を行った。 (最優秀賞及び優秀賞受賞者については、住みよい県土建設週間表彰式にて、賞状、副賞を贈呈) 活動指標達成率は100%である。 作品展示場数については、県立図書館において作品の展示を行った。 活動指標達成率は100%である。 以上より、当該事業については、予定どおりの活動量があると判断できる。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること 小学生が、川を題材とした絵を描くことを通じ、河川に関心を持ち、河川の大切さを理解する機会となっている。 また、多くの県民が利用する県立図書館での作品展示により、広く河川愛護思想を普及・啓発することができており、展示会にて実施したアンケートでは、「図画コンクールが河川を守る意識付けに役立っている」と答えた割合が88%となっていることから、意図した成果をほぼ上げているといえることができる。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	より多くの県民に対し河川愛護思想の普及・啓発を図るため、開催場所の追加など展示方法を見直す。	1

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	より多くの県民が作品の鑑賞機会を確保できるように、現在行っている県立図書館での開催に加え、利用者層の異なる他の施設での展示を行う。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。